

わたくしたちの町

人口(男)…… 4,737人
(女)…… 5,046人
合計…… 9,783人
3月中の転入 16人
転出 28人
世帯数…… 2,237世帯
(3月末日住民登録人口調)

広報

あのかわ

季節をひろう

春の眠りをゆさぶつて
農作業の音がひびく。
機械植えの育苗は
細かな心づかいが必要で
医者のような目で
薬をはかたりする。
土をなでたり
水をかけたりする小さな手
つきのつみかさねが
また今年も始まった。
(家族総出の苗)への作業
(八幡谷地内で撮影)



県道バイパス改良工事など
県に強く要望

佐々木副知事、合川町を訪問

町政と県政の連携を深める「知事・副知事訪問」が四月十三日に行なわれました。今年、副知事をはじめ、県地方課長、地方部長、出先機関の所長ら、十八名が来町。町内現地視察の後、役場大会議室で懇談会を行ないました。

町からは、町三役、教育長、各課長、町議会議員各機関団体長など九十人が出席しました。副知事、町長のあいさつの後、次の五十三年度重点事項を要望し、県の考え方をききました。

① 主要地方道バイパスの採択について
交通渋滞解消と交通安全の確保のため、二ツ井森吉線の下杉上杉地内、及び鷹巣合川堂川線の芹沢三木田間のバイパスを設置していただきたい。
② 下杉上杉間バイパスは五十三年度中にルートを決出し、用地買収もしたい。

③ 国有林貯木場と木材取引センターの設置について
大野台工業団地に、県北地区を対象にした、国有林貯木場と木材取引センターを新設し、木材の安定的持続的供給体制を確立し、併せて、木材地場産業の集団化をはかっていたいただきたい。

④ 農村教養研修施設の設置について
企業経営者、団体、従業員から、大野台ハイランドハウスの近辺に、職場毎に研修できる施設の設置を要望が高く、農村教養文化体育施設整備計画基本方針に基づき、教養研修施設を設置していただきたい。

⑤ 必要について
必要についてはよくわかるが、雇用促進事業団の事業は申込町村が多いため、他の事業でできないか検討する。

⑥ 県営ノルデックスコースの設置について
秋田県スキー連盟が、県の委託を受け調査中である。大野台ノルデックスコースは、大野台総合開発計画の一環として進めている、フィンランド村建設構想との関連で行なわれるものであり、冬の長い当地域の、社会体育振興の面から、是非実現していただきたい。

コースの設置について
秋田県スキー連盟が、県の委託を受け調査中である。大野台ノルデックスコースは、大野台総合開発計画の一環として進めている、フィンランド村建設構想との関連で行なわれるものであり、冬の長い当地域の、社会体育振興の面から、是非実現していただきたい。

関係機関の意見も聞きながら、今年度の調査結果をみて、検討する。

町長日記から
春になると、ゴミが特別の自分が散らばしたものに眼につく。道路の傍(かたわら)などに吹き寄せられたゴミは雑多である。この悲しい風景を、なんとかならないか。
町の公民館では、ゴミを散らばさない運動を提唱している。子供も大人も散らばさないことは勿論であるが、散らばっているものも、散らばらばらないで、思いのだが。
(義)



要望の早期実現を迫る畠山町長

⑦ 大野台授産施設の近くにハビリ病院を設置してほしい。
⑧ 道川結核療養所をリハビリ病院に切り替える考えであり、大野台は今のところ考えられない。
⑨ 融雪時に大野台から流れる水の排水を、県単事業で考えてほしい。
⑩ 早急に調査検討する。
⑪ 水田再編利用対策の二段階の奨励金は、奨励金の高い方にのみ栽培が集中し、現在の畑地が荒廃しないか。
⑫ 二段階制は、輸入作物の自給から考えられたもので、荒廃しないよう指導していく。

28億円の使いみち 住みよい町をつくるため

町の53年度予算から



予算は町の未来へのかけ橋……………

一般会計 二十億七千五百八十万円

前年度予算比四・三%の減

昭和五十三年年度の合川町各会計予算は、広報前号でお知らせしたとおり、三月定例議会で可決されました。予算の中身とりわけ歳出は、今年の町政がどんな方向に進んで行くかを示すものです。町の台所を予算から拾ってみました。

一般会計予算総額は、二十億七千五百八十五万円、このお金をどうして確保するのか。歳入では、自主財源が全体の十六%ならず、うち町税は八・四%にすぎません。八十四%は依存財源になっておりますが、中でも地方交付税は四十五・三%の高い比率を占めています。しかし旧来の高度成長時代のように、地方交付税の大幅な伸びは期待できず、最大の財源の確保が円滑な町政運営のカギとなるわけです。

歳出では、総務費と農林水産業費が、それぞれ全体の二十%近くをしめています。総務費の主な内訳は、人件費や役場管理費などの一般管理費が一億三千三百六十万円、町財産の造成を図

利用再編対策など、米生産調整費として四百六十万円、そして人件費など農業総務費として三千八百七十万円を計上しています。

林業関係では、林業団体の育成に千五百万円、森林資料館や村道整備など林業振興費として八千六百四十万円、森林資料館は大野台ハイランド周辺に建設され、今秋にはオープン予定です。

社会福祉費や児童福祉費など民生費は二億八千三百五十万円にのぼり、町政の大きな柱となっています。老人福祉費に二千三百四十万円、軽費老人ホーム運営費に四千三百万円、医療給付費に五千九百二十万円、みさか寮運営委託料に千五百万円、また、保育園など児童措置費に八千八百六十万円。ほかに授産施設(グリーンハウス)建設補助、母子福祉費などきめ細かな予算となっています。

東小管理棟の改築 推進する生涯教育

次代の郷土を培う教育費も大きな位置をしめています。小学校費では、東小管理棟の改築費五千五百三十万円など小学校費に九千七百八十万円、中学校費は二千四百五十万円、さらに生涯教育を推進する社会教育費に二千四百七十万円、体力づくりで健康な町づくりをめざす保健体育費は、六千八百二十万円となっています。町民体育館は来年度着工とし、今年度は一千万円を基金として積み立てることにしました。

土木費では、除雪ロータリー車の購入に二千二十万円を計上し、機動力はさらに充実します。町道の舗装

七路線、合わせて工事費として一億二千二百九十万円とし、李倍バイパス、新田目線の完成とともに、道路網の整備が図られています。公営住宅建設費は五千四百五十万円を見込み、駅前地区に一戸建て十戸を建設します。

五十三年度には、新しく保健福祉を重点にとり上げ、衛生費は八千九百万円、これは昨年度に比べ、三千八百万円余の伸びとなります。町民の健康管理を支える合川診療所は、今後の赤字も予想しながら、予防治療両面からの充実をめざして

国民健康保険税は据え置きとし、医療費については、約十%の伸びを予想しています。町民の健康管理を支える合川診療所は、今後の赤字も予想しながら、予防治療両面からの充実をめざして

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

一般会計予算の内訳

目的別	性質別	歳入	歳出
		(単位千円)	
総務費	建設事業費	地方交付税	412,966
412,966	34.3%	941,000	19.9%
		45.3%	
農林水産業費	補助費等	町債	400,435
400,435	21.0%	323,100	19.3%
		15.6%	
民生費	人件費	県支出金	283,548
283,548	18.3%	251,615	13.6%
		12.1%	
教育費	公債費	国庫支出金	270,032
270,032	8.5%	175,394	13.0%
		8.5%	
土木費	物件費	町税	223,241
223,241	6.5%	174,884	10.7%
		8.4%	
公債費	災害復旧費	諸収入	175,745
175,745	11.4%	209,861	8.5%
		10.1%	
衛生費	その他	計	89,157
89,157		2,075,854	4.3%
消費費	特別会計	国民健康保険特別会計	220,730
220,730		365,683	10.7%
議会議費	診療所特別会計	診療所特別会計	220,730
220,730		121,980	10.7%
災害復旧費	簡易水道施設特別会計	簡易水道施設特別会計	220,730
220,730		216,715	10.7%
その他			
220,730			
10.7%			

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。



待望の町民体育館、53年造成、54年建設の予定

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

受益者負担を原則として簡易水道の増設

特別会計では、国民健康保健特別会計が、三億六千五百六十万円、合川診療所特別会計が一億二千九百九十万円、簡易水道施設建設事業特別会計が三千四百五十万円、簡易水道施設建設事業特別会計が二億千六百七十万円となりました。

国民健康保険税は据え置きとし、医療費については、約十%の伸びを予想しています。町民の健康管理を支える合川診療所は、今後の赤字も予想しながら、予防治療両面からの充実をめざして

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

昭和五十二年 簡易保険・年金の融資事業

町では、五十二年年度の次の施設の建設を、簡易保険の積立金「年金」から融資を受けて行ないました。

町立合川北小学校校舎一部増築、町立木戸石児童館駅前地区簡易水道改良工事

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

町民各層への浸透が期待されます。簡易水道への繰出は三千九十万円を計上しています。

『皆検診で健康づくり』

地域保健計画を策定

合川町町民健康管理センター運営審議会が、初会議が四月十七日に行なわれ、保健福祉の町づくりをめざす「地域保健計画」をまとめた。会議には、地域代表、職域代表、学校代表、関係機関代表など、任命をうけた五十人のほとんどが出席。検診の推進や栄養改善対策について、実状と今後の方向を話し合いました。

自主活動を強化

衛生指導員協議会

健康管理センター運営審議会にさきだつて、十七日午前には、合川町衛生指導員協議会が開かれました。町長は協議会のあいさつの中で、五十三年度の県の脳卒中予防事後管理強化事業の指定を受けたことを報告。町ぐるみの活動となるよう、協力を要請しました。



健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

「保健だより」の毎月発行先進地視察などを決め、成る三月三十一日に行なわれ、本町が合併し、誕生した日を記念し、式典を行っているものです。

町政施行記念式典は、去る三月三十一日に行なわれ、本町が合併し、誕生した日を記念し、式典を行っているものです。

式典では、町政功労者、納税完納者、国保優良世帯、保健衛生優良部落、社会福祉事業功労者を表彰、町の一層の発展を誓い合いました。

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

町政施行記念日 関源吉氏 桜田彦三郎氏 を表彰

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

また、桜田彦三郎氏は、地域の指導的立場から、産業経済発展のため尽力した功績を賞讃するもので、保健衛生優良部落には、兼沢部落が選ばれました。

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

健康な町づくりを願って衛生指導員協議会

葉たばこ

三億円を突破

合川町の売り上げ額

合川町の葉たばこの売り上げが三億円を突破し、四月八日、記念大会が開かれました。



県内有数の葉たばこ団地に定着

昭和十三年に導入以来、昭和三十一年には十四ヘクタールに栽培が伸び、合川町の産地化と栽培面積の拡大、技術の向上を図って、合川町葉たばこ耕作者組合を結成。昭和四十二年には組合員も二百六十七人と増

え、五千万円の売り上げを記録しました。しかし、労働力がかかる第二の農産物に定着した葉たばこも、今年「量より質」と、生産調整に入り、出席者は新たな意欲にも燃えています。

標準小作料改定のお知らせ

農業委員会にお問い合わせ下さい。

昭和四十五年に農地法が改正になり、それ以降の農地の賃貸借については、小作料は当事者の自由な契約により定められる様になりました。現在、統制が継続されている古くからの小作地の場合も、五十五年九月限りで、統制はすべて廃止されます。

合川町の標準小作料

農地	平垣部A	平垣部B	山間部A
基準収量	550kg	530kg	420kg
標準小作料	39,000円	33,600円	6,700円

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

農地の賃貸借については、小作料は、貸手と借手が話し合って決めれば良いのですが、お互いの利害は対立する面もあります。

御利用下さい

転作農家特別 貸付金制度

水田利用再編対策を円滑にするため、転作をする農家や団体に、転作のため必要な資金を貸付けする制度です。転作のために行う次のような事業が対象になります。

- (1) 小規模な排水、客土
- (2) 土壌改良
- (3) 機械、施設の購入
- (4) 生産資材(消耗品は除く)の購入
- (5) その他、特に必要と認める事業

貸付条件 貸付利率 無利子 償還期間 五年以内(据置期間二年以内を含む) 償還方法 年賦償還 貸付限度額 三十万円 (特認五十万円) 団体 百五十万円 (特認二百万円) 融資率 100%以内

これは県の融資制度ですが、町独自の融資制度もあります。

第一回申込締切日は、五月十五日ですので、いづれも、役場農林課に申し込み下さい。

桜前線に心もウキウキ。春は犯罪の季節です。カギのかけ忘れ、不用心なポケット。気を付けましょう。まんいち、犯罪に出会ったら、すぐに通報。そして現場はそのまま保存しておいて下さい。

春の防犯運動実施中

水田利用再編対策 目標面積を達成へ

水田利用再編対策協議会が、今年「量より質」と、生産調整に入り、出席者は新たな意欲にも燃えています。

水田利用再編対策協議会が、今年「量より質」と、生産調整に入り、出席者は新たな意欲にも燃えています。

水田利用再編対策協議会が、今年「量より質」と、生産調整に入り、出席者は新たな意欲にも燃えています。

おめでとう 李岱子供会・工藤一男さん 秋田県青少年健全育成会で表彰

仲間づくりや郷土づくり、に、継続的に活動している人々を表彰する、秋田県青少年健全育成会では、李岱子供会と上杉の工藤一男さんを、このほど表彰しました。

李岱子供会 は昭和三十八年の結成。現在、五十六名の会員により、体力づくりや美化活動などを行っています。特に、親の会、老人クラブとの交流が活発で、伝統芸能「駒踊り」の保存は、部落の後継者として、今後の成果が期待されています。



「仲間づくり」「郷土づくり」
李岱子供会の活動から

李岱子供会では、この受賞機会に、親の会ともども、地域での活動をさらに積極的に進めたい、みんなで仲よく手を取り合っていることと張り切っています。

また、上杉の工藤一男さんは、昭和四十五年から、ボランティアとして活躍。親の会、子供会と連けいを保ちながら、郷土芸能「獅子踊り」に子供を参加させるなど、地域に根をはった活動が認められ、子供会育成成功労賞が贈られたものです。工藤さんは広域消防合川分署に勤務しており、公務のかたわら、地域の世話役としてがんばっており、内外から大きな評価を得て、今回の受賞となりました。

「梅の木」に仲間入り

還暦祝い百十五名

ふりむけば 細き流れの 晴着きる
老を知る 文
これは、四月二十日行なわれた合川町還暦祝で、還暦をむかえた、佐藤キミさん(川井)が詠んだ俳句です。

今年還暦祝を迎えたのは男六十三名、女五十二名の計百十五名。還暦を過ぎると老人と呼ばれたのは、二昔ほど前の話。

兼業農家では、農業の柱として働きがかりの人も多く、また、主婦業も「まだまだ若いもんにはまかせられない」と張り切っています。

交通安全共済 わずか三百円で

交通安全防止には、町、県とも多くの経費をかけてがんばっていますが、交通事故は絶えません。事故によって起こる不幸を、少しでも助け合っていることと、県内七市六十町村民がつくっているのが、交通安全共済組合制度です。

「オレもいっしょに体操を」ということがありましたらどうぞ五分間だけ体操におつき合下さい。

〔写真IIはじまったラジオ体操・某日午後三時〕

お祈りします。

老人居室整備 資金貸付制度のお知らせ

一申込みは五月一日から五月二十日まで
六十歳以上のおとしよりのいる世帯で、居室の増、改築を予定している方に、老人居室整備資金貸付制度があります。

貸付の条件は次のとおりで、希望される方は、五月一日から二十日まで申込みに必要な書類を添えて役場に届けてください。

- (一) 申込み者と保証人二人の所得及び資産証明書
 - (二) 工事見積書
 - (三) 平面図
- ※ 詳細は役場福祉課(電話 二二一一)へお問い合わせください。

こんなにも支払われている

国民年金の受給者へ国が支払っている拠出年金は、昭和五十二年で一兆百五十億円、ほかに無拠出の福祉年金七千七百二十五億円で、合わせて一兆七千八百億円余になる見込みです。

この金額は、一万円札で積み上げると、エベレスト山の一・八倍。

四月から、二千二百円の保険料が二千七百三十円に引き上げられました。大分高くなったという感じを受けますが、現在の年金給付水準を維持していくには、五千五百円が必要で、急激な引き上げは、無理な負担がかかるため、毎段階的に引き上げようとする予定です。

みんなの広場

地域活動だより

ろばた講座 座地域版

このほど、上杉体育協会(代表・和田勇治)・同公民館(主任主事・笠井健一)同ボランティアの会(代表・和田富郎)の共催による成人男子の学習会が上杉児童館で行われました。

学習会には、畠山町長、佐藤公民館長、新しく発足した宮農大学の鈴木副校長も出席し、これからの地域づくりは、成壮年層(三十代から五十代)の双肩に

待望の車(地域活動連絡車)を購入

かねてから要望してあった地域活動連絡車が購入になりました。

車種は日産スカイラインバン・一六〇〇CCで広報設備もあり、色はシルバーでスマートな車です。

地域活動を主体にした合川町の社会教育も体力づくり、保健福祉と相まって更に活発になるものと期待されます。



盛春時代//還暦仲間

あなたもいっしょに 1, 2, 3



二役場で体操の時間二

住民の保健福祉を提唱している役場では「健康増進はまず職員から」ということでこのほど庁舎内で「ラジ体操」をはじめました。

時間は、毎日午前八時二十分、午後三時の二回、それぞれ五分ずつNHK第二放送を利用するもので、はじめは上衣を脱いで体操することをためらっていた人もありましたが次第に人数もふえてきました。

ありがとうございます 善意のご寄付

次の方々から、故人の香典返しにかえて尊い浄財のご寄付をいただきました。

町の社会福祉協議会の活動費に繰り入れ、有効に役立てることにいたしました。

紙上を通じて厚くお礼申し上げます。

(社会福祉法人、合川町社会福祉協議会)

慶弔だより

自四月 一日
至四月 二十日

〇おめでとございます。
ご健康をお祈りします。

佐藤友美・功二女(木戸石穴倉泰典・博明長男(駅前) 松橋央子・隆二女(駅前) 福岡靖子・博二女(三里))

謹んでごめいふくをお祈りします。

場企画課までお寄せ下さい。

ものです。豊かな老後をおくるため、将来の年金として返って来る保険料です。で、御理解下さい。

◎県政モニターを公募中
県政に関心のある人で満二十才以上の男女(議員、公務員を除く)応募〆切、五月十日(水) 申込 秋田市山王四一―

ビリツときたら電
もうおしまい!! 感
鯉のぼりの季節です。五月晴れの中に鯉のぼりがはためく姿は、子供ならずとも気持ちがいいもの。

ところで、鯉のぼりによる感電事故も、後をたちません。もう一度安全確認。

① ポールが倒れても電線に触れない距離。
② どうしても電線にかかりそうだった時には、電話三二六六東北電力合川出張所へ。危険のないようお手伝いします。

③ 電柱に登るワンパク君や家庭内の電気器具にも要注意です。

りします。
成田与市・本人(大内沢) 木村米吉・本人(李岱)

〇お詫び
前号慶弔だよりで、松橋紗乙里ちゃんの名前がまちがってしまいました。お詫び致します。

〇おねがい
広報の係が変わりました。初めての係ですので、紙面についての御意見など、役場企画課までお寄せ下さい。